

令和元年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

受賞者：厚生労働大臣賞（入選）
佐竹 重則 氏

所属：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 宮城支部
東北職業能力開発大学校

テーマ：多様で柔軟な職業能力開発の推進

論文名：開発課題実習と標準課題実習を連携した実習における建築施工管理の実践
～これからの総合建設業に就職する施工管理技術者をどのように育成するか～



普段はどのような業務に携わられていらっしゃいますか。

東北職業能力開発大学校 応用課程 建築施工システム技術科で主に RC 施工管理課題実習等の学生訓練業務と「乾燥材齢 28 日～182 日におけるコンクリートの乾燥収縮量の測定」、「コンクリート型枠施工の実践技術」等の民間企業の方を対象とした共同研究や在職者セミナーの訓練業務を担当しています。

今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

東北能開大で RC 構造の施工管理課題実習を担当させてもらって 8 年が経ち、当校では応用課程の開設時から 3・4 年生が連携して RC 構造施工・施工管理課題実習を実施していることや直近の 3 年では、開発課題実習で生産性向上・省人化をテーマとするようになり、こうした取り組みについて、東北能開大以外の施設の方にも知ってもらいたいと思ったことが執筆したきっかけです。執筆と併せて、作成していくプロセスを記録していけば、学生の論文作成の参考になるのではないかと考えていました。

今回の論文はどういった方に読んでいただきたいと思いますか。

学生たちの就職先となる総合建設業の研修担当や採用担当の方、大学校や都道府県セン

ターの建築系指導員の方に読んでいただき、興味を持ってくだされば嬉しいです。

今回の論文はどのような業務に活用して貰いたいですか。

大学校で RC 構造施工・施工管理に関する実習における授業計画の作成や RC 構造物の施工計画をする際などに、他施設の実施事例として参考にしてもらえると幸いです。

今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

気を付けたというほどのことはありませんが、執筆に取り掛かる前には、前施設で行っていただいた論文作成の勉強会での資料や市販されている論文作成についての書籍を読み直しました。作成にあたっては、アウトラインの作成を早めに行い、他の業務と並行しながら常に頭の片隅で考えながら更新していました。

今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

今回、この論文を執筆したことで、自身が担当している実習の目的や実習の効果について、改めて向き合うことができました。大学校の訓練業務では、学生に対する論文作成についての指導もあるので、そうしたことも意識して作成すれば、学生指導に活かせると思います。

最後に、受賞されたご感想をお聞かせください。

今回、厚生労働大臣賞入選という荣誉ある賞を賜り、たいへん嬉しく光栄に思っております。また、ご支援をいただいたみなさま方に深く感謝申し上げます。